



ナマの感動が育てます

NPO法人さわやかサロン（岸綾子理事長）が県教育委員会の委託事業で取り組んでいる「幼児共育ふれあい活動」の第7回講座「人形劇をみよう」が、11月25日、中央公民館で開催されました。東根市を拠点に子ども演劇教室などを行っている「人形劇団あ・い」の舞台上、子どもたちは目を丸くして見入っていました。演者と観客とが一体となって生まれる迫力もあつたかさも「生（なま）」だからこそ。子どもたちがたくさんの「生」にふれ、たくさんのふれあいと感動が体験できる場をつくっていききたいものですね。



歴史を刻んで30年

民謡、謡曲、日本舞踊、ダンス、コーラス、華道、茶道、写真、邦楽など23の団体・会員総数約400人で構成する金山町芸術文化協会（今井舟山会長・金山民謡会）は、結成30年を迎え、12月29日、改善センターで記念祝賀会を開きました。芸術や芸能は生き甲斐づくりにとも健康で健やかな人・地域づくりにもつながります。益々の発展と活躍を祈ります。

安心を仕込みました

食の安全に関心が高まる中、JA金山女性部では、地場産の大豆などを使った味噌づくりを奨励しており、数地区の女性部が取り組んでいます。持越の女性部は去年からはじめ、2回目の今年は11月26日、各家でゆでた大豆を持ち寄り、「仕込み」をしました。お盆頃には、おいしい自家製味噌が食べられるとか。



いよいよ広域商工会

金山町・真室川町・鮭川村・戸沢村の4つの商工会は、来年4月から「もがみ北部広域商工会」として合併することになりました。12月9日、金山町商工会の白倉周二会長らが鈴木町長を訪れ、商工会の広域合併に向けて町の支援をお願いしたいと、町に要望書を提出しました。地域の商工会としてさらなる発展を期待します。



さんげさんげ

出羽三山の年越し行事「さんげさんげ」は、金山町では上台地区に今でも伝えられてきており、毎年12月のはじめに、地区公民館で行われています。地区の男性が三山参りのいでたちをして行者になり、参拝者と一緒には根清浄を読み、五穀豊穡、家内安全を祈願します。



高い投票率・明るい選挙の推進

今年は選挙制度130周年の年。町選挙管理委員長の平川忠治さん（七日町）に、総務大臣から感謝状が贈られました。平川さんは、平成3年12月に選挙管理委員に就かれ、同15年12月から委員長を務められていて、投票率の向上や明るい選挙の推進にご尽力いただいています。これからもよろしくお願いたします。



げんきはつらつ!! 満100歳☆

板橋の佐藤作次郎さんが、めでたく満100歳の誕生日を迎えられ、12月6日、鈴木町長が自宅を訪れ、賀詞と祝金を贈呈しました。ご家族にあたたかく見守られ、奥様のヨシさん（95歳）とともにいつまでも元気にお過ごしください。

ほっとな宅配便



羽場地区（三上弘治区長）では、育成会や老人クラブのみなさんが、地域住民が川に親しむ河川アダプト事業で、金山川の河川敷に花や野菜を栽培し、環境保全に取り組んでいます。このほど、地区の民生委員のみなさんなどが、地区内の一人暮らしのお年寄りの家10軒を訪問し、みんなで心をこめて育てた白菜や大根をプレゼント。ひと足早いクリスマスプレゼントに、みなさん温められました。



第2回「かねやま展」を11月11日から13日の3日間、山形市の山形銀行本店で開催しました。町観光協会長の岸英三さんが描いた16点の風景画や明石儀一さん（朴山）制作の金山型住宅の縮小モデルの展示と、物販コーナーでは町の農林産物や作りたての惣菜、木工製品などの販売に、ラジオで宣伝を聞いたというお客さんなど大勢の人たちで賑わいました。これからも、金山の物産や文化の情報をどんどん発信していきたいものです。